

(2) 区のまちづくり目標

- 区のまちづくり目標については、「区のまちづくり目標総括シート」と「事業一覧」によってまとめている。

- ・ 「区のまちづくり目標総括シート」では、目標の実現に向けた「現状と課題」、「今後の取組みの方向性」をまとめている。
- ・ 7区で共通する課題など全市的課題については、51施策の「施策評価」で整理されているため、「区のまちづくりの目標」では、区ごとの特性や独自の取組みに関する課題に絞ってまとめている。

- * 事業の進捗状況の欄は、原則として、指標（「活動の指標」又は「成果の指標」）の達成率（指標を設定していない場合は、代わりに「事業の進捗状況に関する補足」の欄に説明を記載。）を基に、次のA～Dを記載している。

「A」・・・100%以上 「B」・・・75%以上 100%未満
「C」・・・50%以上 75%未満 「D」・・・50%未満

- * 平成26年度を「H26n」、平成26年を「H26」と表記している。

- * 平成25年事業費は、見込額を記載している。

区のまちづくり目標総括シート

東区	歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区 ～住みやすいあんしんなまちづくりをめざして～
取組みの 方向性	○安全で安心して暮らせるまち ○子どもが健やかに育つまち ○人を大切にし、みんながいいきと活躍できるまち ○新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち ○歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	東区	40,553 (15.2%)	192,002 (71.9%)	34,448 (12.9%)	269,307
H17		38,850 (14.3%)	190,269 (70.2%)	42,065 (15.5%)	274,481
H22		41,272 (14.3%)	197,419 (68.4%)	50,090 (17.3%)	292,199
H25		42,491 (14.3%)	197,685 (66.6%)	56,832 (19.1%)	300,410
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	東区	6,124 (5.4%)	46,878 (41.0%)	114,366	
H17		8,125 (6.9%)	47,262 (40.1%)	117,887	
H22		10,653 (8.0%)	56,811 (42.7%)	133,024	
	全市	59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21の豪雨災害にあった校区に配備している地域土嚢（約1万袋）について、一部で劣化が見られ整備が必要となっている。
- ・H24nに策定された「災害時要援護者避難支援対策に関する取組方針」に基づき、2校区と覚書を締結した。（従来の「災害時要援護者情報提供同意者名簿」に関する覚書の締結：11校区）
- ・東区内でのH25の交通事故発生件数は、2,122件（前年比92件の減）、飲酒運転事故が8件（前年比2件の減）発生しており、さらなる取組みが求められる。
- ・セアカゴケグモの発見報告は、H25（9～12月）は316件・6,318匹、H26（1～3月）は109件・804匹と7区で最多であり、早期発見・駆除が求められる。

●子どもが健やかに育つまち

- ・東区の0～4歳の転出・転入者は、7区で最多である（H22国調：転出者1,487人、転入者1,514人）。また、0～4歳の外国人登録人口も422人（H25.9住民基本台帳登録人口）で全市の48.7%を占めており、区の特性を踏まえた子育て情報の提供や子育て支援者のネットワークづくりを進める必要がある。
- ・幼児期の朝食摂食率を高め、基礎的な食習慣の確立を図るために「早寝早起き朝ごはん」事業を食生活改善推進員協議会と連携して実施しているが、事業の拡大・食育の推進にむけて活動校区（H25n：20校区）を全校区に広げる必要がある。
- ・古代の安曇族が縁となった長野県安曇野市との友好交流事業（H3n～）について、今後の交流のあり方を検討する必要がある。

●人を大切にし、みんながいいきと活躍できるまち

- ・地域包括ケアシステムの推進のため、医療と介護の連携強化モデル事業（退院時連携モデル事業）では、職種を超えた医療と介護などの専門職で、在宅医療を推進するための課題の抽出や今後の取組みを確認した。また、高齢者地域支援モデル事業を高齢化率等地域の特性の異なる3校区で実施した。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・香椎駅周辺における土地区画整理事業は進捗率62.5%（事業費べ-ル）と計画どおりに進んでいるが、その進

捗に伴い、新たな店舗の開店や商店街が再生されるまでの間、まちの賑わいを維持していく必要がある。

- ・アイランドシティ整備事業は、埋め立て竣功率約81%、居住人口約5,500人（H26.3月末）とH39nの土地分譲終了に向けて事業を推進している。官民共助による先進的モデル都市づくりを進めるとともに、アイランドシティのまちづくり、みなとづくりについて、積極的に情報発信を行っていく必要がある。

●歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・区内に芸術系の大学（九州産業大学、九州造形短期大学）があるが、大学の専門性をまちづくりに十分生かし切れていない。
- ・志賀島（金印）という日本唯一の歴史・文化資源、海の中道や立花山、三日月山、多々良川などの豊かな自然を生かした地域活性化やまちづくりを進める必要がある。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・備蓄している約1万袋の土嚢を、H25nに引き続き計画的に交換していく（毎年約2,000袋）。
- ・災害時要援護者避難支援の取組みを推進するため、各校区に積極的に説明を行っていく。
- ・H26における交通事故発生件数の目標を2,090件以下とし、交通安全運動の推進を図る。
- ・セアカゴケグモの定期的な調査や駆除の徹底を図る。

●子どもが健やかに育つまち

- ・子育てに不安を持つ保護者を支援するプログラムとして、「親子の絆づくりプログラム（BP）」「ノーバディーズパーフェクト（NP）」「コモンセンス・ペアレンティング（CSP）」を活用した子育て教室を各2クール実施する。
- ・地域や子育て支援団体等からなる「地域子育て支援会議」をさらに充実させ、地域の中でネットワークづくりや地域ボランティアの育成などを進める。
- ・食育の推進のため、「早寝早起き朝ごはん」事業の周知活動を自治協議会・衛生連合会・公民館等の関係団体や保育園・幼稚園・育児サークルなどに年間を通して様々な機会に実施する。
- ・長野県安曇野市との友好交流活動について、交流内容・交流分野（青少年交流を除く）の拡大を検討する。

●人を大切に、みんながいそいそと活躍できるまち

- ・在宅医療、介護等の連携を進めるために情報共有化の仕組みづくりとしてホームページの作成、多職種のスキルアップや連携のための研修会・症例検討会等の事業を関係団体と協働で実施する。
- ・高齢者地域支援モデル事業を実施した3校区については引き続き取組みを推進するとともに、新たにモデル事業実施校区を複数募集する。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・「香椎まちなか美術館」や「香椎灯明まつり」など、地域、NPO、企業、行政が協力し、区内の大学の専門性や学生のマンパワーを活用して、香椎駅周辺におけるにぎわいづくり事業を定期的に実施する。
- ・公・民・学で先進的モデル都市づくりを進めるとともに、アイランドシティのまちづくり、みなとづくりについて、積極的に情報発信を行っていく。

●歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・「東区芸術祭」の開催、芸術系大学の学生との交流事業、東区の魅力ある様々な芸術・文化活動の情報を一体的にとりまとめたPR冊子「アートな東区」の発行などにより、区民の芸術・文化への関心を一層高めていく。
- ・東区の自然の魅力をまとめたリーフレットの作成を検討するなど、東区の魅力発信の取組みをさらに強化する。

事業一覧

【東区】歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区
～住みやすいあしんなまちづくりをめざして～

地域防災・防犯対策事業		所管課	東区総務部総務課		25年度事業費	5,108	千円
					26年度事業費	4,637	千円
対象	1. 安全安心マップ 東区内29校区全て 2. 土のう配備の適正管理 3校区(松島, 宮松, 多々良)						
前年度実施内容	1. 安全安心マップ (1) 29校区の内、3校区(和白東校区, 香椎東校区, 舞松原校区)で安全安心マップの更新を実施 (2) 防災・防犯・交通安全について、各校区の特性に応じた注意箇所等を表記し、マップの更新を実施 2. 土のう配備の適正管理 松島校区の土のう調査を実施し、劣化している土のうを更新するとともに、設置個所の確認を行い、土のう配置マップを作成						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	安全安心マップ作成校区件数(新規・更新含む)	3	3	100%	A		
成果の指標	3校区の水害による被害発生件数	0	1	0%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
東区いきいきまちづくり提案事業		所管課	東区総務部企画振興課		25年度事業費	1,488	千円
					26年度事業費	2,372	千円
対象	地域団体 NPO 企業						
前年度実施内容	事業提案を公募し、事業評価会での審査を踏まえ補助事業を決定 ・助成団体数 : 5団体 ・助成金交付額 : 960千円(5団体合計) ・助成事業 : 親育て 自分たちで創る会話と物語のある居心地の良い空間づくり「Book café コトノハ」 美和台中央公園でなんかしよっか? 第10回放生会特別企画ハコザキアートウィーク/ハコフェス 環境美化クリーン大作戦						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	補助金の助成件数	5	5	100%	A		
成果の指標	補助金への申請件数	7	7	100%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
大学・地域まちづくり事業		所管課	東区総務部企画振興課		25年度事業費	551	千円
					26年度事業費	1,005	千円
対象	九州大学 福岡女子大学 福岡工業大学 九州産業大学 九州造形短期大学 地域						
前年度実施内容	東区コミュニティユース：事業提案を公募し、大学地域まちづくり委員会の意見を参考に事業を決定 ・採択事業数 : 6事業 ・負担金交付額 : 522千円(6事業合計) ・採択事業 : 香椎<まちの記憶>博物館～ライトアップの計画と実演～ 小学生のための夏休み造形芸術ワークショップ 唐原川ラボラトリー 世界の貧困を疑似体験する参加型ワークショップ 貝原益軒の思想を通じた人間の学びのための心の環境づくり おもしろ理科実験教室						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	採用事業数	5	6	120%	A		
成果の指標	大学と地域が共働した事業	50件以上	50件以上	100%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
長野県安曇野市との交流事業		所管課	東区総務部企画振興課		25年度事業費	2,000	千円
					26年度事業費	1,391	千円
対象	区内に住む 小学5年生～中学2年生						
前年度実施内容	東区区民フェスティバル実行委員会の事業として、安曇野市との交流事業を実施 ・安曇野市から青少年10名と引率7名が来福し、東区青少年10名と交流した。 ・主な交流として、阿曇族にゆかりが深い志賀海神社訪問や、海の中道青少年海の家でのカッター教室、勝馬での海水浴、福岡市博物館訪問などを行った。 ・これらの集団生活・体験を通じて、郷土の歴史や文化、風俗・風習などを学びあいながら、互いの生まれ育ったまちへの郷土愛を培った。						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	青少年受入回数(安曇野市→東区)[回]	1	1	100%	A		
成果の指標	受入事業時の交流人数合計(東区及び安曇野市)[人]	18	18	100%			
事業の進捗状況に関する補足	—						

地域コミュニティ担い手発掘・育成事業			所管課 東区総務部地域支援課		25年度事業費	1,055	千円	
					26年度事業費	592	千円	
対象	自治会・町内会 各種団体の関係者	目 地域のまちづくりを担う自治協議会等の役員の育成と新たな担い手の発掘ができ、コミュニティ 的 の活性化・組織強化が図られる状態にする。						
前年度 実施 内容	1. 外部講師を招いたワークショップの実施（和白・名島・香椎下原・千早西・松島）							
	【校区】		【テーマ】		【回数】	【参加数（延べ）】	【講師】	
	(1) 和 白	より連携ひろがりのある体制づくりに向けて		3回	67人	十時 裕		
	(2) 名 島	名島のまちづくりを考える		2回	93人	貞清 潔		
	(3) 香椎下原	より連携ひろがりのある体制づくりに向けて		3回	86人	十時 裕		
	(4) 千早西	よりよい町内会運営に向けての課題の共有		2回	45人	貞清 潔		
	(5) 松 島	現状を踏まえ10年先の松島校区の将来像を考える		1回	45人	山本 華代		
	2. 自治活動に関する研修会や会計処理などの実務者研修の実施							
	(1) 自治協議会実務者研修		会計担当者研修	4校区	105人（八田、和白、舞松原、若宮）			
			各種団体勉強会	1校区	20人（和白東）			
(2) 自治会・町内会長研修		自治会長研修	1校区	30人（青葉）				
			指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	研修会・ワークショップ回数		6	17	283%	A		
成果の指標	研修会・ワークショップ受講者数		180	491	273%			
事業の進捗状況 に関する補足			—					
芸術と文化の香りあふれるまちづくり推進事業			所管課 東区総務部生涯学習推進課		25年度事業費	2,000	千円	
					26年度事業費	2,500	千円	
対象	芸術文化活動者及び芸術文化 にある程度の関心がある区民	目 東区の区民、芸術文化団体、企業、学校、行政など多様な主体が、文化芸術活動の活性化に向け 的 て主体的に取り組むを進める。						
前 年 度 実 施 内 容	東区における芸術・文化のシンボリックな新しいイベントとして区内に居住してあるプロ（セミプロ）の音楽家や文化活動家などに よる「東区芸術祭」を2日間を開催した。質の高い芸術・文化をより身近に感じてもらった							
	・展示の部（11月2日～3日）		参加者350名					
	・フラワーコンサート（11月3日）		参加者300名					
	・PR冊子「アートな東区」の発行		6,000部					
			指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	東区芸術祭の参加者数		500	650	130%	A		
成果の指標	市民センターの年間利用者数		70,400	81,300	115%			
事業の進捗状況 に関する補足			—					
地域の子育てネットワークづくり			所管課 東区保健福祉センター地域保健 福祉課		25年度事業費	929	千円	
					26年度事業費	1,030	千円	
対象	乳幼児を持つ子育て中の親子 とその地域	目 東区に住む子育て中の母親が、孤立せず、地域の見守りの中で、つながりを持ちながら安心して 的 育児が出来る。						
前 年 度 実 施 内 容	1. 「地域子育て支援会議」の開催							
	15校区で16回開催							
	2. 「子育て情報ガイド」の更新							
	(1) 9校区で更新							
	(2) 英語版、中国語版の作成							
	3. 東区管内10ヶ月健診実施医療機関、産婦人科に事業説明、子育て情報ガイド設置の依頼							
	29カ所							
				指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
	活動の指標	地域子育て支援会議の実施		16	16	100%	A	
	成果の指標	—		—	—	—		
事業の進捗状況 に関する補足			—					

区のまちづくり目標総括シート

博多区	お互いが支え合い、安心して人が暮らし、歴史と伝統が息づくまち・博多区
取組みの方向性	○お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち ○安全で安心して暮らせるまち ○歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	博多区	22,249 (12.3%)	133,247 (73.8%)	24,958 (13.8%)	180,722
H17		22,015 (11.6%)	138,342 (73.1%)	28,898 (15.3%)	195,711
H22		21,276 (10.4%)	148,740 (72.8%)	34,371 (16.8%)	212,527
H25		22,130 (10.4%)	152,880 (71.5%)	38,716 (18.1%)	221,857
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	博多区	6,794 (7.5%)	48,177 (53.1%)	90,776	
H17		8,286 (8.4%)	54,166 (55.0%)	98,573	
H22		11,512 (9.3%)	79,610 (64.2%)	124,070	
	全市	59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	

●お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち

- ・単身世帯の割合が指定都市で最も高い福岡市（H22 国調：47.7%）にあって、博多区は7区で最も高い（同：64.2%）。
- ・児童や高齢者の相談件数は増加傾向にあり、相談・支援体制の強化が求められている。
（児童相談件数：669件（対前年度4%増）、高齢者相談件数：17,728件（前年度比13%増））
- ・超高齢社会の到来に向けて、高齢者が地域で安心して生活できるよう、高齢者を地域で支える仕組みづくりが求められている。

●安全で安心して暮らせるまち

- ・交通事故数、犯罪認知件数が7区で最多、放置自転車数が7区で2番目に多く、事故や犯罪が少ない安全なまちづくりが求められる。放置自転車対策は、特に、博多駅周辺及び中洲地区において有効な対策が必要。
 *交通事故件数：3,078件（前年度比38件増）
 *犯罪認知件数：4,762件（前年度比598件減）
 *自転車の放置率（H25.10）14.1%（前年同月比3.7%減）
- ・災害時要援護者避難支援対策では、避難支援計画の策定など実効性のある支援体制の構築を目指し、2校区でモデル事業を実施中。
- ・生活道路について、損傷が激しい箇所数は7区で最多となっており、博多区に約4割が集中していることから、計画的な維持修繕が必要。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・寺社や名所旧跡、伝統ある祭り、伝統工芸など優れた歴史文化資源が多数存在し、九州新幹線全線開通やJR博多シティ開業により来街者が増加しているが、これらの歴史文化資源を十分生かしきれていない。
 *JR博多駅乗降者数 93,982千人（前年比1,598千人増）
 *博多ガイドの会案内人数定点ガイド 10,999人、派遣ガイド 729人、期間限定ガイド 579人
 *博多ライトアップウォーク入場者の推移 H23 53,275人、H24 78,661人、H25 91,101人

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち

- ・児童虐待防止の取組みを進めるとともに、引き続き保育コンシェルジュ等の活用により保育所待機児童の解消を図る。
- ・高齢者の総合相談窓口である「いきいきセンターふくおか」の増設に向け、相談・支援体制を強化する。
- ・「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、医療と介護の連携強化を図るとともに、地域において住民による支え合い助け合いの仕組みづくりを推進する。

●安全で安心して暮らせるまち

- ・路面シート（自転車放置禁止区域）の貼付（H26n 50 か所整備予定）、歩行空間の整備や交通安全施設の整備など、安全で快適な生活基盤の整備を実施。
- ・地域による福岡 Web マップを利用した安全安心マップの作成支援（H26n 3 校区予定）や防犯教室、防犯パトロール研修などの開催支援（H26n 44 回開催予定）をはじめとした地域の防犯活動を支援。
- ・災害時要援護者避難支援対策では、現行のモデル校区での取組結果をもとに、新たに2校区程度をモデル校区に指定。
- ・博多駅周辺地区や中洲川端駅周辺地区などをはじめとした区内の自転車放置禁止区域や放置常習箇所を対象として、街頭指導員の配置等による啓発活動や即日撤去の効果的且つ効率的な実施。また、新たな駐輪場の整備を実施。
- ・「福岡市生活道路アセットマネジメント基本方針」（H26.3 策定）に基づき、施設の点検・修繕を計画的に行うことで、施設の延命化を図るとともに、費用対効果の高い施設の維持・管理に取り組む。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・博多ライトアップウォーク、秋に博多で行われるイベントをとりまとめたキャンペーン「博多秋博」など、歴史や伝統文化を活かし、地域・企業・行政が連携し、集客力の向上とまちの活性化をめざす。特に、H26.3 に「博多千年門」が完成したことを契機に、PR を強化。
- ・歴史的景観と調和の取れた道路整備などにより、回遊性の向上を図る。

事業一覧

【博多区】お互いが支え合い、安心して人が暮らし、歴史と伝統が息づくまち・博多区

放置自転車対策事業①		所管課	博多区地域整備部 自転車対策・生活環境課	25年度事業費	5,708 千円
				26年度事業費	7,765 千円
対象	自転車利用者	目的	道路及び公園利用者の安全で快適な空間の確保及び都市景観の向上の一つの方策として、自転車利用者の自転車放置を防止する。		
前年度実施内容	【博多駅周辺の放置自転車対策】 ・街頭指導員の効果的な配置及び計画的な即日撤去を実施。 【放置自転車対策・駐輪場案内啓発事業】 ・路面シートの貼付については、貼付実施箇所における損傷等の調査を行い、中洲地区（新規：約220箇所）と博多駅周辺（劣化箇所：約90箇所）で実施予定であったが、契約手続上の理由により、3月に中洲地区のみで実施（博多駅周辺地区については新年度で実施予定）。また、チラシ等作成配布については、中洲地区において実施（5千枚）。 ※旧事業名：博多駅周辺環境整備（おもてなし対策）事業 ※H26n予算から下記【放置自転車対策事業②】と統合。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	駐輪場の利用台数	—	—	—	A
成果の指標	博多区内放置率（％）	17.0	14.1	121%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
放置自転車対策事業②		所管課	博多区地域整備部維持管理課	25年度事業費	5,018 千円
				26年度事業費	— 千円
対象	自転車利用者	目的	都市公園の景観を保全し、公園利用者が安全安心に利用できる快適な空間を確保する。		
前年度実施内容	委託により都市公園（博多駅周辺の8公園）で街頭指導を行い、駐輪マナーの向上、違法駐輪防止に取り組んだ。 ※旧事業名：公園内の違法駐輪対策事業 ※H26n予算から上記事業【放置自転車対策事業①】と統合。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	—	—	—	—	C
成果の指標	放置自転車等の台数の減少率[対H24n比（610台）]（％）	20.0	10.7	54%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
地域防犯推進事業		所管課	博多区総務部総務企画課	25年度事業費	1,306 千円
				26年度事業費	1,240 千円
対象	地域の防犯組織	目的	犯罪が起きにくい地域づくり、犯罪に遭いにくい方法を習得し、地域住民への反映を図る。		
前年度実施内容	・博多警察署や市民局の協力を得、防犯教室を40回実施した。 ・博多警察署や博多防犯協会の協力を得、博多区地域防犯活動研修会を実施した。 ・地域に対し、街頭犯罪防止に向けた物資支援を19校区実施した。 ・ふっけいメール・生活安全課・警察・地元住民等からの情報網を駆使し、地域への情報提供及び登下校時のパトロールを実施した。 ・地域支援課の協力で、2校区で安心安全マップの更新、1校区で子供安心安全マップが完成している。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	防犯教室等の実施	44	41	93%	A
成果の指標	安全安心マップの更新	3	3	100%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
博多ライトアップウォークの推進		所管課	博多区地域支援部地域振興課	25年度事業費	11,000 千円
				26年度事業費	11,000 千円
対象	観光客	目的	このイベントをきっかけとしてより博多の魅力を知り、博多の歴史・文化への理解を深め、更に来訪してもらう。		
前年度実施内容	・九州内および近郊の旅行会社開催について通知、JRの協力により交通結節点での広報強化を行い、観光客をより多く呼び込むよう努めた。 ・寺社の魅力を知ってもらうため、会場において特別拝観を実施、また会場として2寺院を追加し、計8会場で実施した。 ・地域に密着したイベントとするため、博多小学校の児童にランタンを制作してもらい、また、地域の飲食店に来場者へのサービスを実施してもらった。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	入場者数	78,000	91,101	117%	A
成果の指標	—	—	—	—	
事業の進捗状況に関する補足	—				

地域密着型の集客・まちづくり		所管課 博多区地域支援部地域振興課		25年度事業費	6,772	千円
				26年度事業費	6,997	千円
対象	観光客	目 地域住民・企業・行政が一体となった賑わいづくりやおもてなしの心で迎え入れることで、「博多は楽しい、また来たい」とリピーターになってもらう。				
前年度実施内容	・博多の魅力発信会議 地域住民・企業・行政が一体的に取り組んでいくため、定期的に会議を開催するとともに、秋に行われるイベントの広報キャンペーン「博多秋博」などを実施。 ・博多遊学プロジェクト 賑わいづくりや回遊性向上のため、秋博スタンプラリー、寺社コンサートなど具体的なイベントを地域、企業、行政が連携して実施。 ・博多みらいネットワーク 地域住民等とまちづくりを考えるフォーラムや新たな魅力を発見するためのフォトコンテストなどを実施。					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	「博多の魅力」HPアクセス数（月間PV）	50,000	108,112	216%	A	
成果の指標	—	—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—					
おもてなしの人材活用事業		所管課 博多区地域支援部地域振興課		25年度事業費	1,839	千円
				26年度事業費	2,159	千円
対象	観光客	目 ガイドや地域の人々がおもてなしの心で迎えることによって、観光客の博多の歴史・文化への理解を深める、更に来訪してもらう。				
前年度実施内容	・博多専門の観光ガイドを養成するための研修を実施。研修修了後、「博多ガイドの会」を設立 ・博多の観光案内パンフレットを制作し、観光客が手軽に観光情報を入手できるよう地域の店舗等で配布					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	まち歩き参加者数	1,000	1,308	131%	A	
成果の指標	—	—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—					

区のまちづくり目標総括シート

中央区	人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」 ～にぎわい・元気・安心がつながるまちをめざして～
取組みの方向性	○自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち ○思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち ○誰もが安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	中央区	16,380 (10.9%)	115,013 (76.2%)	19,478 (12.9%)	151,602
H17		17,043 (10.5%)	122,962 (75.4%)	22,974 (14.1%)	167,100
H22		17,562 (10.1%)	127,849 (73.8%)	27,724 (16.0%)	178,429
H25		18,661 (10.3%)	131,904 (72.5%)	31,306 (17.2%)	187,142
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	中央区	5,683 (6.9%)	47,521 (57.6%)	82,522	
H17		6,848 (7.4%)	54,284 (59.0%)	91,929	
H22		9,473 (8.9%)	67,499 (63.2%)	106,825	
H25		59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	
	全市				

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・福岡市においてはH24に入込観光客が過去最高となるなど、3年連続の増となっており、都心部の回遊性の向上やにぎわいの創出を図る必要がある。*H24 入込観光客数：1,740万人（前年比62万人増）
- ・万葉歌碑や史跡等多くの見どころがあるが、来街者等に十分に知られていないものが多く、まちの資源として有効な活用が必要。

*鴻臚館跡整備事業：H26n 基本構想策定 福岡城整備事業：H25n 基本計画策定

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・中央区は住民の約9割がマンション等共同住宅に居住し、転勤者が多いことから、地域のつながりが希薄化しやすく、世帯の孤立化が懸念される。特に、育児ノウハウの伝承が難しいなど、子育て相談に対する行政ニーズが高い。
- ・住民自治意識の希薄化や活動への参加者減少・固定化、役員の担い手不足、自治会・町内会の加入率低下などが課題。
- ・中央区の高齢化率は17.0%（H26.3）と年々上昇しており、中年期からの健康づくりが重要。

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・中央区の放置自転車は2,432台/日減少傾向（前年比150件減）にあるが、依然として年間約16,400台の撤去を行っており、撤去頻度を減らすと違法駐輪が増加。特に、西中洲・春吉地区については、隣接する中洲地区が放置禁止区域指定されることから、早急な区域指定が必要。
- ・交通事故件数のうち自転車事故の占める割合は中央区が29.4%と7区で一番高く、自転車の歩道における安全走行が課題。
- ・ひったくりや車上ねらいなど街頭犯罪の発生件数は減少傾向にあるものの依然として多く、地域の防犯活動の支援や住民の防犯意識の高揚など、犯罪が発生しにくい環境づくりの推進が必要。
*街頭犯罪件数：H25 2,046件、H24 2,414件、H23 2,238件、H22 2,224件、H21 2,445件
- ・中央区は高齢者の単独世帯数の割合が8.9%（H22）と高く、地域全体で平常時から災害時要援護者支援対策までの見守りの仕組みづくりを推進することが重要な課題。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・都心部から鴻臚館跡、福岡城跡への回遊性の向上のため、地域と連携したイベント等を実施するとともに、警固公園などを生かしたにぎわい拠点・回遊づくりを推進。
- ・エリアマネジメント団体「We Love 天神協議会」との共働により、都心部のにぎわい創出などを推進。

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・子育て支援に関するニーズに十分対応できるよう、相談体制の強化を図るとともに、効率的な事業実施方法等について検討。
- ・地域での新たな担い手を開拓し、多様な主体の地域活動への参画を目指して、NPOと公民館との共働を促進するほか、市民が取り組む地域課題の解決や魅力づくりなどの取り組みを支援。
- ・今後高齢者になる世代が生涯現役で地域づくりに参加できるよう、「アラ還世代のための還活大学」と称し、還暦前後の人たちへ健康管理に関する知識を普及するとともに、地域デビューのきっかけづくりを強化。

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・放置自転車については、街頭指導の強化を図るとともに、引き続き違法駐輪の撤去を実施。違法駐輪が多い赤坂地区はH26.6に放置禁止区域に指定。また、西中洲・春吉地区の禁止区域指定に向け、地元等との協議及び駐輪場整備の検討を推進。
- ・各校区の街頭犯罪の派生要因や問題点を抽出し、具体的な抑止対策を検討することで、校区の防犯活動が持続するよう、警察や関係機関と連携し積極的に支援。
- ・要援護者の支援体制構築のためのモデル事業を実施するなど、平常時も災害時もみんなで支え合い助け合う地域づくりを推進。

事業一覧

【中央区】人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」
～にぎわい・元気・安心につながるまちをめざして～

都心部まちめぐり推進事業		所管課	中央区総務部企画振興課		25年度事業費	1,224	千円
					26年度事業費	1,563	千円
対象	来街者、地域住民	目	通りの名称付や名称標示、「まち歩きマップ」等の活用により、分かりやすく、案内しやすい、まちの実現的（都心部の回遊性の向上）を図る。				
前年度実施内容	1 まち歩きイベント等の実施（大名地区） ①既存のまちあるきマップを活用したウェブサイトの作成及びフェイスブックを使った「通り名称」の周知 ②まちあるきルートを作成するためのワークショップを開催（全3回） 大名歴史スポットルートなど計13ルートを作成 ③ワークショップで作成したルートによるまちあるきを実施（全5日間） 2 まち歩きマップ（天神地区）の増刷・配布						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	まち歩きイベントの参加者数	250	105	42%	C		
成果の指標	まち歩きイベントでのアンケート（通り名称認知度）（%）	60.0	68.5	114%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
中央区歴史・文化を生かしたまちづくり推進事業		所管課	中央区総務部企画振興課		25年度事業費	1,578	千円
					26年度事業費	2,612	千円
対象	来街者、地域住民	目	史跡や行事など地域の貴重な歴史資源を生かし、まちの魅力発信や回遊性の向上、地域の活性化を図る。				
前年度実施内容	①歴史、文化説明板の設置 簗子校区 5箇所、平尾校区 8箇所 ②「まちの魅力再発見講座」を実施 対象校区：大名校区、赤坂校区、当仁校区、簗子校区 延べ100名 実施内容：歴史講座、まち歩き、ワークショップ ③福岡城さくらまつり、おおほりまつりのPRのためにポスター、リーフレットを作成・配布（ポスター200部、リーフレット3500部）						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	講座実施地区	8	8	100%	A		
成果の指標	講座アンケート（満足度%）	80.0	92.0	115%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
地域コミュニティ活動活性化支援事業		所管課	中央区総務部地域支援課		25年度事業費	884	千円
					26年度事業費	4,619	千円
対象	14校区の自治協議会 自治会・町内会 地域住民	目的	自治協議会、自治会・町内会、各種団体等に、「地域の様々な問題は、地域の実情に応じたやり方でまず自ら解決に取り組み、それが不可能な場合に行政が支援又は対応する」という意識が浸透することを目的とする。				
前年度実施内容	①自治会・町内会長交流会（全会長対象に事例発表と意見交換会2/22） ②キラリ校区支援事業（地域課題解決の意欲がある校区を対象にワークショップ等の開催を支援、赤坂・平尾） ③出前講座（校区が実施する自治会・町内会長研修に校区担当職員が出向いて支援、6校区・計7回） ④広報力充実支援（校区HPやブログの開設及び運営を支援、HP運営支援：当仁、ブログ開設支援：大名） ⑤安全安心マップ（多くの住民の参加を得てDIGや校区の安全点検等を実施しマップを作成、簗子・赤坂）						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	安全安心まちづくりマップ作成校区数	5	5	100%	C		
成果の指標	校区主催の会長研修・交流会が定着している校区数	5	2	40%			
事業の進捗状況に関する補足	—						
乳幼児子育て安心事業		所管課	中央区保健福祉センター健康課・地域保健福祉課		25年度事業費	1,593	千円
					26年度事業費	2,338	千円
対象	育児不安の高い母親とそのこども	目的	子育て世代が安心して自信を持って育児ができるよう、「相談」「情報」「遊び」「交流」の場を提供し、育児的不安の軽減を図るとともに虐待防止に努める。				
前年度実施内容	①母子何でも相談：対象は乳幼児を持つ保護者月1回助産師等による個別相談、体重計測。継続支援が必要な場合は保健師による家庭訪問を実施。 ②この指と一まれ教室：ちょっと気になる子（2～4歳）とその保護者が対象。遊びと母親同士のピアサポートを通して、こどもの発達や子育てに関する不安を解消することを目標にしている。 ③子育て安心セミナー：生後2～3か月の第一子とその母を対象に月に1回開設。産後間もない時期の不安の解消を目的に、育児講話、母親同士の交流、個別相談を実施。						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	子育て安心セミナー参加者組	216	212	98%	B		
成果の指標	3歳児健診時子育てが楽しいと思う保護者の割合（%）	80.0	75.0	94%			
事業の進捗状況に関する補足	—						

アラ還世代のための還活大学		所管課	中央区保健福祉センター地域保健福祉課	25年度事業費	1,194 千円
				26年度事業費	1,771 千円
対象	中央区に居住及び中央区に勤務する55歳～69歳の男女	目的	①退職後や子育て後も、年1回健診を受け、自身の健康管理ができること。また、その時期特有の疾患について理解し、自ら予防策をとることができる。 ②地域の公民館に出向いたり、地域活動に参加したりすることで、居住する地域につながりをもつことができる。		
前年度実施内容	①講座の開催；7回シリーズ×2コース ②教室OB会の開催（2回）と参加者代表との座談会の開催 ③シニアのための情報冊子の作成と教室参加者への配布（シニアのための知恵袋スマートシニアブック） ④教室継続参加意欲向上を目指したグッズの作成と活用（スマートシニアバッジ、学生証、卒業証書など）				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	教室受講者数	500	405	81%	B
成果の指標	講座参加者のうち、年1回検診を受けた方の割合（％）	80.0	70.0	88%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
人と自転車が生産できるまちづくり事業		所管課	中央区地域整備部道路適正利用推進課	25年度事業費	13,189 千円
				26年度事業費	9,117 千円
対象	自転車利用者	目的	道路利用者の安全で快適な空間の確保及び都市景観の向上の一つの方策として、自転車利用者の自的 転車放置を防止する。		
前年度実施内容	①モラルマナー啓発:街頭指導員述べ約12,000人 ②放置自転車の撤去:16,445台				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	有料駐輪場の利用者数(1日平均利用者数)	—	5,574	—	B
成果の指標	放置率(%)	18.0	18.6	97%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
食と美容の安全・安心プロモーション事業		所管課	中央区保健福祉センター衛生課	25年度事業費	1,408 千円
				26年度事業費	1,619 千円
対象	1 事業者 2 子供の保護者、学生等 3 美容に関心の高い世代	目的	食中毒予防、健康被害防止に関する正しい知識を身につけてもらい、食中毒事件、美容施術による事 故の発生を未然に防ぐ。		
前年度実施内容	1 食の安全・安心の推進 ①食肉の生食による食中毒を防止するため、事業者に対し施設監視や講習会等で提供自衛を指導（講習会72回）。また、市民に対し、街頭キャンペーンでパンフレットを配布する等、生食肉を食べることの危険性を周知（パンフレット配布数:14,000部）。 ②食のイベントにおける食中毒を防止するため、事業者に対しパンフレットを活用した事前指導及び当日の現地指導を実施（施設監視件数1,886件）。また、地域のバザーにおける食中毒を防止するため、パンフレットを活用して窓口指導や講習会を実施（窓口指導件数：82件）。 2 美容の安全・安心の推進 まつ毛エクステンション等美容施術による健康被害防止に関するパンフレットの配布（パンフレット配布数：6,000部）。また事業者に対する指導の強化として、事業者向けの衛生講習会を実施。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	講習会のべ開催数	105	103	98%	B
成果の指標	食中毒事件数及び食中毒疑い調査件数(生食肉関係)	0	6	—	
事業の進捗状況に関する補足	—				
中央区地域防犯対策事業		所管課	中央区総務部総務課	25年度事業費	1,665 千円
				26年度事業費	1,906 千円
対象	中央区民	目的	地域の防犯活動を支援することで、住民の防犯意識の高揚を図るとともに、自主防犯活動が活発となり 的 地域の犯罪抑止力が強化される。		
前年度実施内容	①NCC活動による各校区部会が実施する防犯活動に参加 ②児童の登校時間帯における見守り活動を実施 ③防犯活動に必要な物資の支援（反射電柱幕、LEDライト、自転車用ワイヤーロック等） ④中央警察署主催の防犯キャンペーンに随時参加 ⑤安全安心まちづくりニュースを毎月各校区へ配布 ⑥落書き消しボランティア支援（大名、赤坂、春吉校区、天神3丁目の落書きけし活動に対し溶剤等を提供） ⑦防犯カメラ設置補助金を活用した支援の促進 ・設置団体；西中洲1区(10台)、大手門3丁目1区(7台)、今泉2丁目2区(2台)、高砂1丁目2、3区(2台)、WeLove天神協議会(3台)				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	防犯活動に対する支援を行う校区数	14	14	100%	A
成果の指標	中央区内で発生する街頭犯罪認知件数（万引きを除く）	2,200	2,046	108%	
事業の進捗状況に関する補足	—				

区のまちづくり目標総括シート

南区	いきいき南区 ぐらしのまち ～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～
取組みの 方向性	○人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うぐらしやすいまち ○みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち ○那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち ○大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	南区	35,937 (14.8%)	174,163 (71.7%)	32,830 (13.5%)	243,039
H17		34,007 (13.8%)	173,480 (70.6%)	38,204 (15.5%)	246,367
H22		33,528 (13.6%)	167,308 (68.0%)	45,186 (18.4%)	247,096
H25		34,477 (13.7%)	167,033 (66.3%)	50,319 (20.0%)	252,900
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	南区	6,613 (6.3%)	42,016 (40.0%)	104,999	
H17		7,514 (6.9%)	43,813 (40.3%)	108,734	
		9,892 (8.8%)	46,220 (41.2%)	112,306	
H22		59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	
	全市				

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うぐらしやすいまち

- ・少子化が進行する中、母親が子育てに不安・負担を感じて孤立化することがないよう、安心して生み育てられるための施策や、子どもが健やかに育つための施策が求められている。
- ・高齢化率が20%を超える校区が過半となっており、高齢者が心身ともに健康で社会と繋がりを持って暮らせるよう応援する施策がますます重要。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・高齢者のみの世帯の割合が15.7%（H22 国調）と7区中最も高く、災害時の要援護者の支援方法の確立等が課題。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・南区の景観の大きな特色である56か所のため池をはじめ、油山や那珂川などの身近な自然環境を守り育むとともに、健康づくりなどにも活かしていくことが重要。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・区内及び周辺部には7つの特色ある大学・短大が立地しており、その専門的知識や人材などを住民生活の課題解決等に活かす取組みが重要。
- ・西鉄天神大牟田線からも遠い区西南部地域では、道路交通網の強化や公共交通の利便性向上など、地域の活性化に向けた取組みが求められている。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うしやすいまち

- ・新米ママや若年ママのための親子セミナー、発達が気になる子どもと親が集えるサロンの開設など、育児不安を軽減し、孤立化や虐待への移行を予防するとともに、子育て情報の提供や、子どもの正しい生活リズムの普及啓発などに取り組み、みなみっ子の元気な成長を応援。
- ・高齢者の健康づくりや社会参加に関する講座開催、地域で高齢者を見守るしくみづくりなどを進め、高齢者が元気で心豊かな人生を送れるよう応援。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・災害時における要援護者をはじめとする住民の安全確保のため、地域と共働で防災・防犯意識の醸成、組織や従事者の育成、訓練などに取り組むとともに、ワークショップやセミナーなどを通じて、先進的な地域の取組み事例を紹介し、全体の意識向上につなげる。
- ・校区安全安心マップを「福岡市 web まっぷ」上で有効活用できるよう、各校区を支援。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・自然に親しむためのさまざまな取組みを推進。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・住民を対象とした大学版出前講座や公開講座など、大学と地域をつなぐ事業を推進。
- ・那珂川町との交流事業や、松原桜を活かしたまちづくり等を推進。
- ・地域拠点である長住・花畑地域を含む区の西南部地域の活性化に向けて検討。

【南区】いきいき南区 ぐらしのまち ～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～						
元気ハツラツみなみっ子応援事業 (Aみなみっ子子育て支援, B子育て情報マップ作成, C子どもの生活リズム向上普及啓発)			南区保健福祉センター 地域保健福祉課 [A, C] 子育て支援課 [B]	25年度事業費	1,482 千円	
				26年度事業費	1,684 千円	
対象	[A] 育児不安を感じやすい若年・新米の母親, 発達に気になる子どもの母親 [B, C] 乳幼児の保護者全般 目 [A, B] 育児不安が解消して, 虐待のリスクが軽減している。安心して楽しく子育てしている。 [C] 子どもが正しい生活リズムを身につけて, 健やかに成長している。					
前年度実施内容	[A] みなみっ子子育て支援 ・育児不安を感じやすい層に早期にアプローチし支援するため, 1歳未満の乳児を持つ若い母親を対象に交流会「プチママ☆あつまれっ!」を, 初めて子育てをする生後間もない乳児の母親を対象に「生後1～3ヶ月新米ママのための親子セミナー」を, 発達障がいのある子どもと保護者のためのサロン「みなみん」を実施 [B] 南区子育て情報マップ作成・配布 ・中学校区ごとに作成し, こんにちは赤ちゃん訪問, 子どもプラザ, 子育て支援課窓口などで配布 (区ホームページからダウンロードも可能) [C] 子どもの生活リズム向上普及啓発 ・リーフレットの配布, 健康フェアで「啓発コーナー」設置, 「南区子ども月間 (10～11月)」に街頭キャンペーン実施 等					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	セミナー, サロンの開催回数 [A]		17	17	100%	B
成果の指標	セミナー, サロン終了アンケートにて「満足した」と回答した割合 [A]		89	87	98%	
事業の進捗状況に関する補足		—				
いきいきシニア応援事業 (Aアクティブライフのための健康きっかけづくり事業, B食に着目したアクティブエイジング推進事業, C南区耳バリアフリープロジェクト, D南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業)			南区保健福祉センター 地域保健福祉課 [A, D] 健康課・衛生課 [B] 総務部企画振興課 [C]	25年度事業費	3,408 千円	
				26年度事業費	1,697 千円	
対象	[A] 概ね60歳前後の方 [B] 元気な高齢者 [C] 聞こえが不安な高齢者 [D] 支援が必要な高齢者 目 [A, B, C] 高齢者が健康で, 生きがいを持って, いきいきと暮らしている。 [D] 高齢者が, 地域全体で見守られ, 住み慣れた地域で安心して生活できる。					
前年度実施内容	[A] アクティブライフのための健康きっかけづくり事業 ・健康づくり (生活習慣病予防・栄養・運動等) と社会参加をテーマに「健康きっかけづくり講座」を実施し, 講座の内容を毎回ホームページに掲載 [B] 食に着目したアクティブエイジング推進事業 ・高齢者の食に関するアンケート調査を実施 ・大学等に広報協力を得てレシピコンクールを実施し, 高齢者や食品事業者が選んだ入賞レシピ集を作成 [C] 南区耳バリアフリープロジェクト ・九州大学大橋キャンパスと共同で, 「聞こえ」をテーマにした講演会や, ヒアリング・ループの機器開発を実施 [D] 南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業 (～H25) ・モデル校区2校区にてワークショップの開催と, 校区防災訓練にて要援護者の安否確認訓練の実施 ・うち1校区で支援者に対する研修会の開催, うち1校区でマニュアルの作成と生活支援ボランティア団体の設立					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	講座参加者数 [A]		25	19	76%	B
成果の指標	食事をしながらコミュニケーションできる場の数 [B]		1	1	100%	
事業の進捗状況に関する補足		—				
南区防災・防犯支援事業			南区総務部総務課	25年度事業費	4,003 千円	
				26年度事業費	3,863 千円	
対象	南区の住民	目 地域と共働し, 防災・防犯意識の醸成, 組織や従事者の育成, 訓練などに取り組むとともに, 校区独自の活動を支援し, 安全で安心な住みよいまちづくりを進める。				
前年度実施内容	○災害時要援護者避難支援対策の充実強化 ・ワークショップの実施 (2校区: 計5回) ・南区自主防災組織セミナー開催 ○校区安全安心マップの福岡市ホームページ (webまっぷ) 上での活用 ・安全安心マップの地図データをwebまっぷに取り込み, 必要な校区が随時マップを編集できるようにシステムを改修 ・webまっぷ活用に関する操作説明会を実施 (2回)					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	災害時要援護者台帳覚書締結校区数		18	19	106%	A
成果の指標	覚書締結校区中, 避難指示時に要援護者として把握している人の安否確認を実施できた校区数		18	—	—	
事業の進捗状況に関する補足		—				

水辺や緑に親しむまちづくり事業		所管課	南区総務部企画振興課 地域整備部地域整備課	25年度事業費	48,532 千円
				26年度事業費	888 千円
対象	南区の住民 ほか	目 那珂川やため池などの水辺空間等の自然が、住民にさらに身近で、うるおいとやすらぎを得る場になっている。			
前年度実施内容	【ハード事業】 ・瓢箪（ひょうたん）池環境整備工事（道路下水道局予算）〔～H25〕 【ソフト事業】 ・那珂川川下り大会の開催（H25. 8. 3） ・南区水辺のカレンダーの作成・配布（H25. 12配布）				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	治水池の整備数（環境整備事業）	3	3	100%	B
成果の指標	市政に関する意識調査：自然環境の豊かさに満足（南区）	80	74.5	93%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
大学と地域の縁むすび事業		所管課	南区総務部企画振興課	25年度事業費	404 千円
				26年度事業費	689 千円
対象	南区の住民 ほか	目 南区に所在する大学・短大が持つ専門の人材や知的財産を活用して住民のくらしの課題解決に生かす的 取組みを進めるとともに、学生と地域との交流を促進する。			
前年度実施内容	・南区出前講座（大学版）の実施 ・「南区大学公開講座」の開催 ・「南区大学連絡会議」の開催（H25. 6. 20, H26. 2. 20） ・南区魅力ある地域づくり懇談会（学生版）の開催 ・南区大学情報バンクの運営				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	出前講座（大学版）の開催数	30	28	93%	B
成果の指標	市政に関する意識調査：芸術・文化水準に満足（南区）	60	56.9	95%	
事業の進捗状況に関する補足	—				

区のまちづくり目標総括シート

城南区	豊かな暮らしがあるまち・城南区 ～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～
取組みの 方向性	○安全で安心して暮らせるまち ○地域で支えあう、ぬくもりのあるまち ○地域と大学が共生するまち ○自然環境を大切にするまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	城南区	16,704	(13.3%)	92,827	(73.8%)	16,212	(12.9%)	126,468
H17		16,281	(12.7%)	92,145	(72.0%)	19,483	(15.2%)	128,663
H22		16,495	(12.9%)	88,231	(69.1%)	22,940	(18.0%)	128,659
H25		16,642	(13.0%)	86,131	(67.1%)	25,603	(19.9%)	129,360
	全市	197,650	(13.3%)	1,003,225	(67.5%)	285,580	(19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		
H12	城南区	3,381	(5.7%)	28,349	(47.9%)	59,194	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。	
H17		4,132	(6.8%)	28,615	(47.2%)	60,655		
H22		5,275	(8.5%)	29,678	(47.7%)	62,189		
		59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21.7に発生した集中豪雨、樋井川水系の河川氾濫により4校区が浸水した経験なども踏まえ、地域防災力の強化や災害に強いまちづくりを着実に進めることが必要。
- ・城南区では全市平均と比べても年少人口の割合が低く、少子化が進んでおり、安心して生み育てられる環境づくりが必要。

●地域で支え合う、ぬくもりのあるまち

- ・城南区では全市平均を上回るスピードで高齢化が進んでおり、独居や認知症などの高齢者問題への取組みが求められている。

●地域と大学が共生するまち

- ・区内にある福岡大学、中村学園大学の学生数は約2万5千人で、区人口の約2割に相当する。大学の高い教育研究機能や設備、専門的知識を持つ人材などを地域課題の解決に活かす取組みが求められている。

●自然環境を大切にするまち

- ・区域の南部に位置する油山、区域を貫流する樋井川など、身近にある豊かな自然環境を次世代に継承していくとともに、住みやすい環境づくりに活かすことが必要。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・樋井川の浸水対策として、福岡大学との連携のもと、過去に浸水被害にあった校区での避難ガイドブックの作成とともに、地域の自主防災組織への活動支援や普及啓発など、継続して地域防災力の向上を図る。
- ・月齢に応じた子育て情報やトピックスなどを配信する携帯用メールマガジン「子育てにっこりんメール」において、アンケートによるニーズ把握や、対象年齢の拡大など、安心して生み育てられる環境づくりを推進。

●地域で支え合う、ぬくもりのあるまち

- ・認知症に関する正しい知識を普及啓発し、校区全体で支え合う「認知症になっても暮らしやすい地域づくり」を推進。
- ・自治協議会などの地域団体と共働して、参加者自身の健診結果を持ち寄り、校区単位の健康課題をテーマとした健康講座をシリーズで開催し、区民の自主的な健康づくりを促進。

●地域と大学が共生するまち

- ・大学・大学生の地域活動への参画を促進するため、地域と大学・大学生との定期的な情報交換や大学生への地域活動情報発信の仕組みづくり、共働事業などを行い、大学を生かしたまちづくりを推進。

●自然環境を大切にするまち

- ・油山の四季折々の魅力や、ハチクマの渡りが観察できる日本有数の観察スポットである片江展望台でのハチクマウォッチングの開催をPRするなど、自然環境を大切にするまちづくりを推進。

事業一覧

【城南区】豊かな暮らしがあるまち・城南区

～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～

防災対策事業（避難ガイドブック作成・地域防災リーダー養成・要援護者避難計画支援等）				所管課	城南区総務部総務課	25年度事業費	1,255	千円		
						26年度事業費	1,698	千円		
対象	①各校区自主防災組織 ②過去浸水被害4校区住民 ③災害時要援護者	目的	①26年度までに各校区5名程度の防災士を養成し自主防災組織の活性化、地域防災力の向上を図る。 ②27年度末までに4校区に避難ガイドブックを作成し、水害発生時における犠牲者ゼロとする。 ③個別支援計画を策定し、安全な避難行動を確立する。							
前年度実施内容	①H24nから福岡大学と連携し、防災士資格取得のための大学での講義受講料を支援し、現在7名受講中である。また、受講生と既存の防災士との合同研修会を開催した。 ②過去浸水被害を受けた校区の中で、H24nは田島校区、25n鳥飼校区で作成した。 ③避難支援計画の策定に向け、25年度城南区自治協議会連絡会議で諮り、田島校区で取り組んだ。									
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況					
活動の指標	避難ガイドブックを作成	2	2	100%	A					
成果の指標	対象校区への累計配布数	9,700	9,700	100%						
事業の進捗状況に関する補足	—									
安全安心のまちづくり（校区安全安心マップ改訂・自主防災パトロール活動支援・安全安心街頭キャンペーン実施等）						所管課	城南区総務部総務課	25年度事業費	1,631	千円
								26年度事業費	1,752	千円
対象	①校区防犯推進協議会 ②地域住民	目的	①地域の防犯活動が活発になる。 ②市民の防犯意識が向上する。 上記により、地域の防犯力が向上する。							
前年度実施内容	①城南区防犯推進協議会による防犯活動の推進 ②安全安心マップの改訂（鳥飼校区、城南校区） ③防犯グッズの支給（各校区5万円） ④高齢者を対象とした交通安全・防犯啓発の実施 ⑤街頭キャンペーンの実施（7、12月） ⑥防犯講座の実施 ⑦地域防犯パトロールカー活動支援									
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況					
活動の指標	安全安心マップの改訂校区数	2	2	100%	B					
成果の指標	小中学生、高齢者に対する防犯教室の開催数	20	15	75%						
事業の進捗状況に関する補足	—									
城南区子育て応援メルマガ事業						所管課	城南区保健福祉センター健康課	25年度事業費	1,192	千円
								26年度事業費	1,199	千円
対象	・就学前までの子どもをもつ保護者 ・妊娠中の人	目的	子育て中の保護者が、孤立感や不安感を解消し、安心して楽しく子育てできる環境を整える。							
前年度実施内容	月齢に応じた子育て情報を月1回配信するほか、子育てにまつわる幅広い情報を集め配信した。 また、登録者アンケートを実施して情報のニーズを調査し、その結果を区の関係7課で構成するワーキンググループで検証し、配信内容に反映した。 ①配信件数：81件（平均月6.8件） （内訳）月齢に応じた子育て情報：12件（月1回） 臨時号：69件（平均月5.8件） ②登録者数：1,337人（年度中371人増）									
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況					
活動の指標	配信件数	60	81	135%	A					
成果の指標	登録率（%）	28.0	30.0	107%						
事業の進捗状況に関する補足	—									
地域を支える人材発掘・育成支援事業						所管課	城南区総務部地域支援課	25年度事業費	211	千円
								26年度事業費	490	千円
対象	○各校区自治協議会等における地域活動者 ○小中学校PTA活動者 ○大学生（福岡大学、中村学園大学）	目的	○校区自治協議会での地域活動を担う新たな人材が確保される。 ○地域活動者のスキルアップが図れる。							
前年度実施内容	研修会や意見交換会を開催 ○人材発掘事業 ①PTA活動者への地域活動研修（長尾、七隈校区） ②大学生への地域活動ガイダンス（鳥飼、七隈校区） ○人材育成事業 ①地域リーダー養成研修（田島校区） ②会計担当者研修（田島、別府、堤、城南、堤丘校区） ③各公民館で主催事業として開催									
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況					
活動の指標	人材発掘・育成支援事業（研修）実施回数	8	10	125%	A					
成果の指標	地域と大学の交流事業数	50	67	134%						
事業の進捗状況に関する補足	—									

区民の自主的な健康づくりの促進		所管課	城南区保健福祉センター地域保健福祉課	25年度事業費	249	千円
				26年度事業費	307	千円
対象	40歳以上の城南区民					
目的	自治協議会との共働により、自主的に健康づくりに取り組む市民を増やす。					
前年度実施内容	2校区で、以下の取り組みを実施した。 ①他課職員を対象に地区診断プレゼンテーションを実施し、地区診断から抽出した健康課題を共有した。1回 19人参加 ②自治協議会と共働で、参加者自身の健診結果を持ち寄り、校区単位の健康課題をテーマとした健康講座を実施した。 長尾校区：「ひろげよう健康のわ・長尾」年6回健康講座開催、がん予防・健診結果の見方・黒田節体操・ウォーキング等 延べ192人参加 田島校区：「たしま健康講座2013」年4回健康講座開催、健診結果の見方・栄養バランス・お口の健康・運動実技等 延べ139人参加					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	健康講座開催校区数	2	2	100%	A	
成果の指標	自主的な健康づくり活動を開始する校区数	2	2	100%		
事業の進捗状況に関する補足	—					
大学のあるまちづくり（大学・大学生と地域の連携交流推進）				所管課	城南区総務部企画振興課	25年度事業費 1,155 千円
						26年度事業費 874 千円
対象	大学・大学生	目的	・学生と地域がふれあう活気のあるまちをつくる。 ・大学の資源（教育研究機能・施設・人材）の地域への還元促進 ・大学と地域の交流による地域課題の解決			
対象	地域・住民					
前年度実施内容	○福岡大学、地域、行政で構成する「地域連携推進協議会」の円滑な運営支援及び、参加メンバーとしての協議会参加 ○福岡大学と福岡市の連携協定締結のバックアップ ○中村学園大学と区役所の意見交換の実施、連携協定締結 ○大学と地域の情報交流の場づくり ・福岡大学への地域活動情報発信の仕組みづくりを促進 ・中村学園大学サークルリーダー研修での公民館事業案内 ○大学・大学生の地域活動に対する広報 ・市政だより区版で年6回「地域で輝く学生力」を連載 ・区HP、フェイスブックで大学関係の記事を発信					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	地域と大学の交流事業数、及び行政と大学の連携事業数	60	81	135%	A	
成果の指標	地域と大学の交流事業数	50	67	134%		
事業の進捗状況に関する補足	—					

区のまちづくり目標総括シート

早良区	ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」 ふれあいと交流のあるまち
取組みの方向性	○お互いが支え合い安心して暮らせるまち ○早良区の特性を生かした魅力あるまち ○地域の魅力を生かしたまち ◆～活力とにぎわいのあるまち～ 北部 ◆～地域の新しい拠点となるまち～ 中部 ◆～豊かな自然を生かした市民の憩いのまち～ 南部

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	早良区	32,337 (15.9%)	145,141 (71.5%)	25,570 (12.6%)	203,656
H17		31,417 (15.0%)	145,996 (69.8%)	31,730 (15.2%)	209,570
H22		31,510 (14.9%)	142,113 (67.4%)	37,234 (17.7%)	211,553
H25		32,221 (15.1%)	139,401 (65.3%)	41,874 (19.6%)	214,169
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	早良区	4,687 (5.8%)	26,881 (33.0%)	81,425	
H17		6,181 (7.1%)	30,195 (34.9%)	86,621	
H22		7,467 (8.3%)	32,128 (35.6%)	90,134	
	全市	59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- 核家族化、地域コミュニティの希薄化等の社会状況の変化により、地域において子育て家庭が孤立化している。子育てへの不安感を軽減し、児童虐待、発達障がい等、支援を要する子どもや家庭をめぐる問題に対応する必要がある。
- 早良区のH24n 特定健診受診率は24.5%であるが、40歳代は14.1%、50歳代は17.3%と低い。生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に、健康づくりの啓発活動を強化する必要がある。
- 団塊世代の大量退職期の到来を契機に、定年退職後に必要な情報提供を行うとともに、地域活動に参加しやすいきっかけづくりにより、地域の担い手不足解消等へ繋げていくことが求められている。
- 福岡市における犯罪認知件数は、H14をピークに減少傾向にあるが、早良区においてはひったくりや自転車盗の街頭犯罪が多い状況にある。地域住民が主体となったワークショップ等の開催は、校区の安全活動を活性化し、街頭犯罪の防止に繋がると期待できるので、継続的な安全活動となるよう、地域住民の意識向上を図るべく、区のサポート体制の構築・啓発活動の強化を図る必要がある。

●早良区の特性を生かした魅力あるまち

- 早良区を代表する脊振山系や室見川などの豊かな自然を保全し、次世代へ引き継いでいく必要がある。
- H24.5に地域の要望のもと誕生した「サザエさん通り」を生かしたまちづくりなど、早良区の魅力を生かした地域活性化や認知度の向上に取り組む必要がある。
- 早良区中南部地域における、区レベルの行政サービスを補完する施設として、地域交流センターの早期整備を図る必要がある。

●地域の魅力を生かしたまち

- 早良区南部地域は少子高齢化や農林業の後継者不足など、地域の活力低下が懸念されており、地域や行政が共働で南部地域の魅力を生かしたまちづくりを推進する必要がある。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- ・ 発達が気になる親子支援のための子育てサロン「もちもち」の開催や、子育て情報誌・子育て情報マップの配布などにより、子育て世代の不安を軽減するとともに子育てを応援する。
- ・ 生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に、健康づくりへの関心を行動に結びつけるための啓発活動を行う。
- ・ シニア世代向けセカンドライフの応援の一環として「シニアのための智恵袋」を活用した地域人材の発掘にかかる事業を行うなど、地域の担い手増加に取り組む。
- ・ 他の校区での安全活動の実施状況やその活動による成果の事例などについて校区間の意見交換会を開催し、活動の手法や問題点を全校区で共有する。また、それに対する区としてのフォローアップの手法を検討し、校区に還元する。

●早良区の特性を生かした魅力あるまち

- ・ 室見川水系一斉清掃を継続するとともに、ポイ捨てをさせない環境づくりとして、啓発や防止策の検討を引き続き行う。
- ・ 「サザエさん通り」の認知度向上やさらなる地域活性化のため、H25nに策定した構想に基づき、ハード・ソフト両面からの施策の充実や広報の強化を官民共働で行う。
- ・ 「さわらの秋」事業をはじめとして、早良区の魅力について、区内外の住民への認知度を高めるための広報戦略や地域資源のブランド化に取り組む。

●地域の魅力を生かしたまち

- ・ 早良区南部地域の魅力を生かしたまちづくりを進めるため、「早良みなみ塾」実行委員会を中心に、検討・実施するなど、地域の魅力を生かした取組みを行う。

事業一覧

【早良区】ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」 ふれあいと交流のあるまち

さわらっ子育て応援事業（発達が気になる親子支援、子ども虐待防止、子育て情報の充実）		所管課	早良区保健福祉センター子育て支援課・地域保健福祉課	25年度事業費	3,847 千円
				26年度事業費	1,792 千円
対象	早良区内の子育て家庭 目 子育てに不安や心配があっても、「相談できる人や場所があるから大丈夫」と安心して生み育てることができ、子どもたちが幸せにすくすくと育つ。				
前年度実施内容	①発達が気になる親子支援 子育てサロン「もちもち」の開催 12回 参加人数 141組 341人 「もちもち」ミニ講座の開催 9回 参加人数 138人 子育て講演会の開催 4回 参加人数 103人 ②こども虐待防止に向けた取組 小学校出前講座（対象者：教員） 15校で開催 参加人数301人 全体研修会（対象者：要保護児童支援地域協議会構成員） 2回開催 参加人数198人 虐待防止啓発チラシ10万部作成し、市政だよりと同時配布（早良区内） 啓発のぼり（小学校・公民館等の関係機関に132本設置） ③子育て情報の充実 子育て情報誌2種類各2万部の印刷・配布 情報誌の評価のためアンケート実施 子育て情報マップの増刷				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
	活動の指標	虐待防止講座開催数	27	29	107%
	成果の指標	研修受講後に通告義務や連携への意識が高まった割合（%）	100.0	98.6	99%
	事業の進捗状況に関する補足	—			B
働きざかりの健康づくり（健康づくり応援団の店事業、サブウェイダイエット事業）		所管課	早良区保健福祉センター健康課	25年度事業費	753 千円
				26年度事業費	718 千円
対象	生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代（20歳代～50歳代） 目 健康づくりへの意識・関心を高め、実際の行動に結びつく。区的全体が健康となるまちづくりをめざす。				
前年度実施内容	①健康情報の発信 レシピ等のリーフレット等を作成し、商店街の協力店舗（早良区独自の健康づくり応援団の店）を通じて健康情報を発信した。（応援団の店への配布作業はヘルスメイトが協力） ②地下鉄駅構内での啓発（交通局SUBWAY DIET事業との連携） 勤労者が利用する地下鉄駅構内において、積極的に階段を使う等し、通勤ついでに健康づくりを実践する市民を増やすための啓発を行った。平成25年度は、健康づくりに関心が低いといわれる若者の視点で情報発信することにより「健康意識はあるが実践できない」層への働きかけをねらいとして、福岡歯科大学の学生さんと連携し、七隈線駅構内（野芥・次郎丸駅）に“階段利用”や“歩く”をテーマとしたホームドアステッカーを設置した。 ③イベント等の機会を捉えた健康づくりに関する啓発 関係機関と連携し、健康づくりをテーマとしたイベント等に参加するなどし、区民の健康に対する関心を高めた。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
	活動の指標	健康づくり応援団の店と連携したレシピ等の配布数	1,110	1,200	108%
	成果の指標	健康づくりに取り組んでいる市民（20～59歳）の割合（%）	—	45.7	—
	事業の進捗状況に関する補足	—			A
シニアのための智恵袋		所管課	早良区保健福祉センター福祉・介護保険課	25年度事業費	1,034 千円
				26年度事業費	1,000 千円
対象	早良区内の今後定年を迎えるシニア世代（概ね50～65歳） 目的 当該世代のセカンドライフへの不安解消、及び社会参加、生きがいづくりの促進				
前年度実施内容	1. 冊子の作成 ◇作成部数 3,000部（H26.2） ※増刷 ◇配付場所 関係各課窓口・区役所情報コーナー、市情報プラザ等 ※アラカンフェスタでの配布（1000部） 2. 生きがいづくり応援講座の開催 ◇参加者数 117名（H26.2/2, 2/16, 3/1 計3回開催） ◇内容 テーマ型講座及び参加者等による意見交換 ◇開催場所 公民館（飯原、飯倉中央、飯倉） 3. 情報発信 ◇早良区情報玉手箱（facebook）にて、活動状況等を随時情報発信				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
	活動の指標	シニアのための応援イベント・講座の参加者数	400	117	29%
	成果の指標	—	—	—	—
	事業の進捗状況に関する補足	—			B

校区安全安心まちづくり推進事業		所管課 早良区総務部総務課	25年度事業費 1,702 千円	26年度事業費 2,457 千円	
対象 地域住民	目的 地域住民の自治意識、安全活動をさらに活性化させ、地域・警察・行政が一体となって犯罪を未然に防止する総合的な活動にまで展開させていくことで、安全で安心して快適に暮らせるまちを目指す。				
前年度実施内容	①毎年2校区を対象に、住民自らが生活している地域について、ワークショップ形式により地域全体の危険箇所等の点検を行い、まちづくり基本計画の策定や、安全安心マップの作成等ソフト・ハード面の整備について支援を行った。平成25年度は飯倉中央校区、小田部校区について実施。 ②各校区で行っている自主防犯活動において、必要となる物資の支援を行い地域の防犯力向上を図った。 ③日頃の散歩や買い物のついでなど気軽に防犯活動に参加できる「びかりんパトロール隊」について、新規隊員の募集やパトロール用品の支援を行い、また隊員を対象とした研修会を実施した。 ④近年多発している高齢者を狙った詐欺事件や高齢者による交通事故の発生状況を踏まえ、外出機会の少ない高齢者を対象に、防犯・交通安全に関する啓発チラシを作成し、未然に犯罪や事故を防止するための啓発を行った。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	まちづくり基本計画を策定した校区数	13 (累計)	13 (累計)	100%	A
成果の指標	—	—	—	—	
事業の進捗状況に関する補足	—				
室見川水系一斉清掃		所管課 早良区地域整備部生活環境課	25年度事業費 878 千円	26年度事業費 878 千円	
対象 早良区民	目 早良区民と共働で室見川水系を上流から下流まで一斉に清掃することで、室見川水系の自然的環境を守るとともに環境意識の向上を図る。				
前年度実施内容	①福岡県福岡県土整備事務所へ除草依頼 (H25. 7) ②第1回実行委員会 (H25. 9) ③各校区自治協議会等へ参加要請 (H25. 10) ④一斉清掃実施 (H25. 11) ⑤第2回実行委員会 (H25. 12)				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	清掃参加者	5,000	3,807	76%	B
成果の指標	ごみ回収量 (4tトラック台数)	10	20	200%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
さわら魅力アップ事業 (さわらの秋)		所管課 早良区総務部企画課	25年度事業費 5,153 千円	26年度事業費 4,687 千円	
対象 区民・市民及び近隣市町村の住民	目 区民が地域に愛着や誇りを持ち、より一層の関心を深めて区内を回遊し、かつ、区外からの観光客を迎え、地域経済の活性化を図る。				
前年度実施内容	・パンフレットを作成し、早良区の秋の観光地、イベント、味覚等を紹介。 (A4版 16ページ・印刷部数15,000部) ・マスコミ、メディアを活用した広報活動 ・RKBラジオ祭りへ出展。 さわらの秋PRブースを設置し、特産品販売・PR ・サザエさん通りウォーキング大会を開催。参加者数約100人 ・さわらの秋ウォーキング大会を開催。参加者約120人 ゴールの内野中央公園で地域からのおもてなし (軽食) ・特産品販売 ・早良のパン屋を一堂に集めてパン祭りの開催 (来場者数1,500人)				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	協賛店	50	46	92%	B
成果の指標	事業満足度 (アンケート集計) (%)	80.0	94.0	118%	
事業の進捗状況に関する補足	—				
さわら魅力アップ事業 (早良区の魅力情報発信)		所管課 早良区総務部企画課	25年度事業費 2,824 千円	26年度事業費 3,110 千円	
対象 区民 市民及び福岡市近郊の住民	目 区政情報の発信により信頼される区役所となる。地域の見どころや地域活動の情報発信により、多くの住民が地域に愛着を持ち、活動に参加する。区近郊から多くの来街者が訪れる。				
前年度実施内容	①市HPは、地域支援課に働きかけ、自治協・公民館のHP・ブログ・FBのアドレスの一覧を掲示するなど、機会を捉え他課への働きかけを行った。区の魅力を紹介するHP「早良区 彩 食 健 美」の玉手箱」を立ち上げた。 ②FB「早良区 情報玉手箱」は、閲覧数を増やすため「さわらの秋」の協賛店の紹介やサザエさんによるサザエさん通り沿いの施設の紹介などを実施。また、各課の投稿数を増やすため区長賞を創設。区長が印象に残った記事を掲載した課への表彰を毎月行った。 ③区役所1階の展示スペース「さわらの四季コーナー」に、地元で活躍する芸術家の作品を展示するとともに、区の事業紹介、四季折々の写真掲示などを行った。 ④地域の見どころや催しを区民が取材する「よかとこ情報探検隊」の記事をHPに随時掲載。				
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	区フェイスブックに掲載する所属の数	10	15	150%	A
成果の指標	区フェイスブックへの「いいね!」の数	600	1,006	168%	
事業の進捗状況に関する補足	—				

さわら魅力アップ事業（「サザエさん通り」を生かしたまちづくり・「サザエさん通り」回遊性向上事業）		所管課	早良区総務部企画課・地域整備部地域整備課		25年度事業費	8,287 千円
					26年度事業費	5,553 千円
対象	早良区民（特に「サザエさん通り」周辺住民） 早良区「サザエさん通り」を訪れるひと	目的	「サザエさん通り」を生かしたまちづくりが進み、長谷川町子氏の足跡を後世に伝えるとともに、「サザエさん通り」の認知度が向上する。また、「サザエさん通り」周辺地域の回遊性が高まり活性化した状態。			
前年度実施内容	・「サザエさん通り」誕生1周年記念シンポジウムの開催 ・サザエさん・マスオさんの着ぐるみを活用した「サザエさん通り」PR ・「サザエさん通り」構想策定に向けたワークショップの開催（学生向け・一般向け/2回） ・「サザエさん通り」周辺自治協議会及び関係団体と共働した「サザエさん通り」構想の策定 ・「サザエさん通り」を生かしたまちづくり推進協議会の設置 ・「サザエさん通り」のサイン整備に向け、その内容、配置、形状などサインの基本的な整備計画の検討 ・起点に「大型サイン（ゲートサイン）」、通り全体に「バナー」58か所を設置					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	サザエさん通りを生かした地域等との共働事業数	3	5	167%	A	
成果の指標	—	—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—	—	—	—		
さわら魅力アップ事業（「サザエさん通り」ハッピーウェディング事業）			所管課	早良区総務部企画課	25年度事業費	841 千円
					26年度事業費	250 千円
対象	婚姻届を提出するひと 区役所来庁者	目的	窓口サービスへの満足度向上、「サザエさん通り」の認知度向上を図る。			
前年度実施内容	・「サザエさん通り」を背景にサザエさん・マスオさんと一緒に記念撮影ができる「サザエさん通り」記念撮影コーナーを設置 ・手元に残らない婚姻届の写しが入る「サザエさん通り」ポケットファイルを作成し、婚姻届受理時に配布 ・いい夫婦の日（11月22日）にサザエさん・マスオさんの着ぐるみを登場させ、新婚カップルを祝福					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	婚姻届件数	1,100	1,171	106%	A	
成果の指標	—	—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—	—	—	—		
さわら魅力アップ事業（野河内溪谷魅力づくり）			所管課	早良区総務部企画課	25年度事業費	0 千円
					26年度事業費	250 千円
対象	区民、市民	目的	野河内溪谷へのの来訪者数増加			
前年度実施内容	来訪し易い環境づくりに向け。自家用車利用による来訪者の利便性向上のため駐車場設置を検討。経費抑制、早期供給可能性の観点から、土地借り上げによる設置を選択、候補地を定め、地権者との交渉に入った。					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	—	—	—	—	D	
成果の指標	—	—	—	—		
事業の進捗状況に関する補足	—	—	—	—		
早良みなみ元気応援事業			所管課	早良区総務部企画課	25年度事業費	1,096 千円
					26年度事業費	1,390 千円
対象	早良区南部地域に住んでいるひと 早良区南部地域を訪れるひと	目的	早良区南部地域の課題を解決するために、これからの南部地域のあり方について考え、今後の地域活動へ繋がるものとする。			
前年度実施内容	早良区南部地域活性化のため、「早良みなみ塾」実行委員会を設置し、各分科会で「早良区南部地域活性化事業計画」で位置づけた早良みなみ塾の各分科会の主要な取り組みについて、体験農園の開園や野河内溪谷自然観察会の開催など具体的な事業構築を行い、その実現に向けた支援を行い、今後地域が自主的に活動運営を行うことのできる体制づくりなどをまとめた推進マニュアルを作成した。					
実施内容	①「早良みなみ塾」全体会フォーラムの開催 2回（延べ65人参加） ②「早良みなみ塾」各分科会の開催 45回（延べ280人参加）					
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	早良区南部地域活性化に関する地域との共働事業数	6	8	133%	A	
成果の指標	早良みなみ塾フェイスブックへの「いいね」の数	150	179	119%		
事業の進捗状況に関する補足	—	—	—	—		

区のまちづくり目標総括シート

西区	自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区 ～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～
取組みの方向性	○自然を生かし、環境にやさしいまち ○にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち ○大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち ○子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	西区	26,932 (16.2%)	115,406 (69.3%)	24,275 (14.6%)	166,676
H17		28,347 (15.9%)	120,391 (67.3%)	30,026 (16.8%)	179,387
H22		30,181 (15.6%)	126,224 (65.4%)	36,540 (18.9%)	193,280
H25		31,028 (15.5%)	128,191 (64.0%)	40,930 (20.4%)	200,475
	全市	197,650 (13.3%)	1,003,225 (67.5%)	285,580 (19.2%)	1,506,313
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	
H12	西区	3,413 (5.5%)	16,385 (26.6%)	61,579	*国勢調査（H25人口は10.1時点の推計人口） *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H17		4,375 (6.4%)	19,213 (28.1%)	68,254	
H22		5,723 (7.3%)	25,157 (32.3%)	77,880	
		59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	
	全市				

●自然を生かし、環境にやさしいまち

- ・豊かな自然をもつ西区では、都市と自然の近接という特性を活かしたまちづくりが必要。
- ・地域での環境活動の活発化には、活動のリーダー的役割を担う人材が不可欠であるが、その人材が不足。

●にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

- ・市街化調整区域では、人口の減少や少子高齢化、公共交通機関の減少などの問題が顕著な地域もある。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・地域と九州大学が直接、連携・交流できる仕組みや関係性が少しずつ構築されてきているが、さらに大学の知識と多彩な人材を地域の人材育成やまちづくりに活かすことが必要。

*H25nの九州大学と地域との連携・交流事業数：37事業

●子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

- ・全校区に自主防災組織が立ち上げられたものの、その組織が災害時に対応できる体制になっているのか住民が不安を抱えており、さらなる取組みが必要。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然を生かし、環境にやさしいまち

- ・人材育成講座による人材の発掘・育成を図るとともに、活動のノウハウ、情報提供等の支援などにより、自立した環境活動を促進。

●にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

- ・市街化調整区域のまちづくり活動支援や関係局と連携した協議を継続的に行うとともに、地域だけで実現・実行が困難なまちづくりの取組みについては、地域主導を維持しつつ、支援・助言を実施。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・「九大サークル一覧」をさらに充実させ、公民館に提供し、大学生と地域との自主的な交流事業開催を促進。
- ・九州大学及び地域の魅力づくりや活性化に取り組む学生団体と地域とをつなぎ、地域の特性にあったまちづくりに取り組む。

●子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

- ・地域防災専門員による校区単位の自主的な避難所運営訓練の支援を全校区に広げるとともに、研修会の開催による住民の防災意識向上、避難訓練の実施等による実践能力向上を図る。
- ・地域・警察・行政が一体となった新たな防犯組織を立ち上げて、情報共有、連携強化に努め、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

事業一覧

【西区】自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区
～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～

地域自治力強化に向けた校区支援事業		所管課	西区総務部地域支援課		25年度事業費	1,272 千円
					26年度事業費	2,151 千円
対象	・校区自治協議会 ・自治会・町内会	目 的	活動を担う人材不足や自治組織への未加入問題などの課題に対して、自治協議会等との共働による事業を実施することにより、自治組織力の強化並びに地域活動の充実強化を図る。			
前年度実施内容	・「自治会・町内会新任役員研修」を実施（参加者47名（新任役員の81.25%）） ・「西区コミュニティ推進講演会」を実施（参加者430名（前年350名）） ①自治会長宛に直接案内を郵送し、参加を呼びかけた。 ②区社協、民児協、消防団など関係機関の後援をいただき、参加を呼びかけ、参加者増に繋がった。 ・「自治協議会実務研修会」を実施（参加者64名） ①地域活動への呼びかけ方法、②役員手当や活動費、③地域活動の活性化対策の三項目について、分科会形式で意見交換を行った。 ・「西区自治協議会交流会」を実施（参加者300名） ①一部：機関・団体の意見発表、②二部：「西区コミュニティ活動推進協定」締結式（西区自治協・県宅建協会西支部・西区役所の三者で締結）、③三部：校区のオリジナルの歌や踊りの発表 ・「自治協議会長会、宅建協会、区役所の情報交換会」を実施（参加者52名）					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	研修会等延べ開催回数		5	5	100%	B
成果の指標	自治会・町内会の加入状況（実績はH22アンケート結果）（%）		95.0	88.8	94%	
事業の進捗状況に関する補足	—					
西区市街化調整区域のまちづくり活動支援事業		所管課	西区総務部総務課		25年度事業費	1,680 千円
					26年度事業費	1,947 千円
対象	・市街化調整区域及びその周辺地域	目 的	市街化調整区域及びその周辺地域の主体的なまちづくり活動実施的・地域公共交通機関の脆弱な地域における交通機関の存続			
前年度実施内容	・「西部6校区まちづくりプラン」の実行支援 ・今津校区におけるまちづくり計画の支援（都市計画法第34条第11号の適用による地区指定及び地区計画決定） ・地域公共交通機関の確保に関する検討（「西区登山マップ」の増刷） ・「糸島半島マップ」の作成					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	市街化調整区域のまちづくり活動の支援数		1	1	100%	A
成果の指標	地域の主体的なまちづくり活動実施		1	1	100%	
事業の進捗状況に関する補足	—					
大学と地域の連携・交流促進事業		所管課	西区総務部総務課		25年度事業費	1,442 千円
					26年度事業費	1,951 千円
対象	・西区住民 ・九州大学学生及び教職員	目 的	住民、九州大学学生及び教職員の連携・交流が促進され、地域のまちづくりに九州大学が貢献する。			
前年度実施内容	・九大生と地域住民による「伊都祭」の開催支援（負担金） ・さいとびあを活用したサークル発表会等の開催支援 ・子ども向けの科学実験事業、農水畜産体験学習事業、航空・宇宙体験学習事業の実施 ・歴史公開講座の実施 ・大学と地域との連絡調整 ・「活かそう！九大便利帳」の更新					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	大学と地域との連携・交流事業数（全て）		37	37	100%	B
成果の指標	大学と地域との連携・交流事業数（地域直接のみ）		19	17	89%	
事業の進捗状況に関する補足	—					
西区防犯対策事業（地域防犯力の強化推進事業）		所管課	西区総務部総務課		25年度事業費	2,000 千円
					26年度事業費	3,479 千円
対象	西区の地域住民	目 的	地域住民自らが主体となって取り組む各種防犯活動を支援することで、市民の防犯意識の向上と街頭犯罪的 罪の抑止を進め、犯罪のない街を実現する。			
前年度実施内容	・安全安心マップの改訂支援（2校区実施、改訂内容は地域で決定） ・地域防犯パトロールカーの車検支援事業（4校区実施） ・西区自主防犯パトロール立ち上げ及び拡充支援事業（7校区実施） ・防犯活動情報交換会の実施					
		指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	安全安心マップの改訂支援実施校区数		7	2	29%	B
成果の指標	犯罪認知件数		2,717	2,231	122%	
事業の進捗状況に関する補足	—					

地域自主防災力及び防災・危機管理体制の充実・強化		所管課	西区総務部総務課		25年度事業費	4,825	千円
					26年度事業費	5,012	千円
対象	・各校区並びに西区の防犯体制 目 防災計画の見直しや避難訓練、避難所運営訓練(HUG)等を支援し、市民の防災意識の向上を図ること 的 により、自助・共助による防災力を強化し、災害に強いまちづくりを推進する。						
前年度実施内容	・ 自主防災訓練等の指導・支援（31件実施） ・ 区総合防災訓練の実施 ・ 情報伝達訓練の実施 ・ 災害危険箇所の点検指導（マップ掲載） ・ 自主防災組織支援物資支給事業の実施						
	指標内容	25年度目標	25年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	自主防災組織活動支援物資支給申請校区数	12	18	150%	A		
成果の指標	地域での防災訓練等の実施数	33	35	106%			
事業の進捗状況に関する補足	—						

(参考)市民満足度調査結果

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、『第9次福岡市基本計画』に掲げる51の施策に対する、市民の満足度、重要度に係る評価を把握し、福岡市総合計画の進行管理(施策評価)の基礎資料とするもの。

2. 調査項目

福岡市の施策全般の満足度、第9次福岡市基本計画に掲げる51の各施策の満足度・重要度

3. 調査の性格

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 調 査 地 域 | 福岡市全域 |
| (2) 調 査 対 象 者 | 福岡市内に居住する満 20 歳以上の男女 |
| (3) 調 査 対 象 者 数 | 4,500 サンプル(有効回収 1,900 サンプル, 有効回収率 42.2%) |
| (4) 抽 出 方 法 | 住民基本台帳による二段階無作為抽出法 |
| (5) 調 査 方 法 | 郵送法 |
| (6) 調 査 期 間 | 平成 25 年 7 月 29 日(月)～8 月 9 日(金) |
| (7) 調 査 実 施 機 関 | 株式会社西日本リサーチ・センター |

アンケート調査票

N=1,900

(数値は各選択肢に対する回答数が総回答数に占める割合(％))

問1. 福岡市が行っている施策全般の「満足度」について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 満足	6.3	4. やや不満	11.4
2. やや満足	25.5	5. 不満	2.7
3. どちらでもない	32.6		

無回答 21.5

問2. 福岡市が行っている次の分野の施策について、あなたの「満足度」,「重要度」を、それぞれあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

番号	項目	①満足度					②重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	特に重要	重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
1	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	8.2	26.5	45.4	14.4	3.8	10.8	58.5	21.5	4.0	1.3
		無回答 1.7					無回答 3.9				
2	人権尊重のまちづくり・男女共同参画の推進	6.9	22.2	53.1	12.2	3.6	10.9	49.9	26.5	5.1	2.3
		無回答 2.1					無回答 5.3				
3	健康づくりや医療の充実, 生涯元気に活躍できる社会づくり	9.1	27.8	39.7	17.3	4.7	28.6	51.4	12.8	1.8	0.6
		無回答 1.4					無回答 4.7				
4	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり	8.5	31.8	43.4	11.5	3.2	11.4	50.4	27.4	4.7	1.2
		無回答 1.7					無回答 4.9				
5	スポーツ・レクリエーション活動の振興	6.3	26.1	47.9	13.5	3.7	7.5	54.1	29.2	4.1	0.8
		無回答 2.4					無回答 4.3				
6	高齢者が安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の充実)	8.1	20.8	39.3	22.5	7.2	36.6	47.9	9.3	1.3	0.6
		無回答 2.2					無回答 4.3				
7	障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり(障がい者福祉の充実)	6.5	18.6	47.8	18.3	6.1	29.0	52.0	12.8	1.5	0.5
		無回答 2.6					無回答 4.2				

8	子どもの健やかな育ち・安心して生み育てられる社会づくり	7.6	20.7	39.2	23.2	6.8	43.5	41.7	9.5	0.9	0.3
		無回答 2.5					無回答 4.2				
9	学校教育の推進，教育環境の整備	6.7	19.5	43.3	20.8	7.4	39.0	44.7	10.7	1.1	0.5
		無回答 2.3					無回答 4.1				
10	子ども・若者の健全育成	6.1	14.4	49.2	20.4	7.6	31.4	48.2	14.1	1.6	0.6
		無回答 2.4					無回答 4.2				
11	地域コミュニティの活性化	4.3	22.0	55.2	12.5	3.1	5.8	47.2	37.2	4.2	0.9
		無回答 3.0					無回答 4.7				
12	公民館など地域コミュニティの活動の場づくり	5.7	26.0	53.4	10.4	2.5	6.3	47.1	36.3	5.0	1.4
		無回答 1.9					無回答 3.9				
13	支え合いや助け合いによる地域福祉の推進	5.6	17.3	55.1	15.2	4.0	15.5	54.3	23.1	2.4	0.5
		無回答 2.8					無回答 4.2				
14	NPOやボランティア活動の活性化	3.4	14.4	67.7	9.3	2.5	6.5	39.7	42.7	4.8	1.8
		無回答 2.7					無回答 4.5				
15	ソーシャルビジネスや企業の地域貢献などによる社会課題解決の推進	2.8	11.4	67.6	11.6	3.2	7.8	37.6	43.2	4.8	1.4
		無回答 3.4					無回答 5.2				
16	災害に強いまちづくり	7.3	22.8	43.8	19.1	5.0	43.8	42.2	9.0	0.7	0.5
		無回答 2.1					無回答 3.8				
17	安全で快適な生活基盤の整備（道路整備，河川改修，下水道整備など）	7.7	28.7	29.9	22.3	7.1	22.9	60.1	9.7	1.3	0.3
		無回答 4.2					無回答 5.7				
18	良質な住宅や住環境の整備	4.2	19.6	50.3	15.8	5.7	14.8	52.6	23.2	2.8	0.7
		無回答 4.3					無回答 5.8				
19	モラル・マナーの向上（放置自転車，不法投棄の防止，路上違反広告物，屋外広告物掲出の適正化など）	5.9	16.9	23.3	29.9	19.9	26.0	54.7	10.9	2.0	0.6
		無回答 4.1					無回答 5.8				

20	犯罪のない安全で住みよいまちづくり	6.0	17.9	28.9	29.1	13.8	45.2	43.1	5.2	0.8	0.5
		無回答 4.3					無回答 5.4				
21	安全で良質な水の安定供給	14.6	35.8	32.8	9.7	3.0	36.9	47.2	9.2	0.8	0.4
		無回答 4.1					無回答 5.5				
22	日常生活における安全・安心の確保(消費者被害の防止, 食品の安全確保, 大気汚染の監視など)	6.5	28.4	43.6	14.1	3.7	32.3	48.7	12.6	0.9	0.2
		無回答 3.7					無回答 5.3				
23	地球温暖化対策の推進, 再生可能エネルギーの導入	3.5	13.6	51.3	20.5	6.3	23.1	50.2	18.2	2.0	0.9
		無回答 4.9					無回答 5.6				
24	ごみ減量・リサイクルの推進	7.6	30.7	40.9	13.9	3.0	18.7	57.5	16.6	1.4	0.5
		無回答 3.9					無回答 5.4				
25	生物多様性の保全とみどりの創出	5.4	23.1	49.8	14.1	2.8	16.4	50.5	24.7	1.8	0.4
		無回答 4.8					無回答 6.1				
26	生活の利便と豊かな自然がコンパクトにまとまったまちづくり	7.3	28.1	45.7	11.8	2.3	10.2	48.2	32.3	2.6	0.7
		無回答 4.8					無回答 6.0				
27	市街化調整区域や農山漁村地域の活力向上	2.7	15.4	64.6	10.2	2.4	8.9	42.3	39.2	3.0	0.7
		無回答 4.7					無回答 5.9				
28	鉄道・バスなどの公共交通を主軸とした交通体系づくり	10.4	30.3	30.1	18.2	7.2	19.2	53.7	19.1	1.8	0.8
		無回答 3.9					無回答 5.4				
29	道路や公園などの公共空間や公開空地, 既存建築物などを活かした, 都心部の魅力向上	4.2	23.2	51.0	15.1	3.3	6.3	43.6	39.6	5.0	1.3
		無回答 3.3					無回答 4.3				
30	観光資源となる魅力の磨き上げ(観光・集客の推進)	4.3	25.4	49.9	13.6	4.1	9.2	44.9	34.7	5.2	1.8
		無回答 2.8					無回答 4.2				

31	緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり (大濠公園・舞鶴公園の整備と一体的活用)	7.1	27.7	50.7	9.4	2.2	9.2	39.2	39.1	6.3	2.0
		無回答 2.8					無回答 4.2				
32	来街者にやさしいおもてなし環境づくり	4.6	22.5	58.5	9.8	1.7	9.2	41.9	37.8	5.6	1.4
		無回答 2.9					無回答 4.1				
33	国際会議や展示会・見本市などの誘致、 コンベンション機能の強化	4.9	20.2	62.6	7.2	1.7	8.0	34.3	42.8	7.3	3.1
		無回答 3.4					無回答 4.5				
34	国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興	4.9	22.4	58.9	8.8	1.8	5.1	37.1	42.8	8.3	2.3
		無回答 3.1					無回答 4.4				
35	観光プロモーション活動（宣伝，広報活動）の推進	3.6	18.5	60.9	11.4	2.7	6.6	36.9	41.2	8.0	3.2
		無回答 3.0					無回答 4.2				
36	産学官連携の推進，新たな産業の振興	3.3	14.6	66.0	10.7	1.9	10.9	39.9	39.5	4.1	1.0
		無回答 3.4					無回答 4.6				
37	企業の立地・集積の促進	3.3	15.8	63.6	11.0	3.1	9.7	40.2	39.6	4.4	1.6
		無回答 3.2					無回答 4.5				
38	地場中小企業の振興	3.1	13.3	59.2	16.7	4.4	16.8	47.7	28.5	1.9	0.7
		無回答 3.5					無回答 4.4				
39	農林水産業とその関連ビジネスの振興	3.6	18.1	60.2	12.8	2.3	14.0	47.6	32.1	1.7	0.5
		無回答 3.0					無回答 4.1				
40	若者・中高年者・障がいのある人などの就労支援	3.8	11.7	43.3	29.2	9.4	24.9	56.7	13.3	1.0	0.3
		無回答 2.7					無回答 3.7				
41	創業しやすいまちづくり	2.8	10.7	68.9	11.3	3.1	8.9	40.6	41.7	3.6	1.0
		無回答 3.2					無回答 4.2				
42	クリエイティブ関連産業の振興（ゲーム，ファッション，デザインなど）	3.3	16.8	67.7	6.9	2.0	5.6	27.8	50.5	8.9	2.7
		無回答 3.3					無回答 4.5				

43	創造的な文化芸術活動がしやすい環境づくり	2.9	14.5	69.7	7.9	1.5	4.7	33.0	49.4	6.8	1.7
		無回答 3.4					無回答 4.4				
44	多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり	2.8	14.4	69.7	8.1	1.7	5.3	32.5	48.7	7.3	1.7
		無回答 3.3					無回答 4.5				
45	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり	3.6	14.1	59.2	16.2	4.1	13.7	48.4	29.4	3.2	1.2
		無回答 2.9					無回答 4.2				
46	大学や専門学校などの高等教育機関の機能の強化	4.5	21.9	56.3	11.4	2.8	11.7	51.6	29.4	2.7	0.6
		無回答 3.1					無回答 3.9				
47	都心部の機能強化（天神・渡辺通，博多駅周辺，ウォーターフロント地区）	5.5	26.4	51.2	11.6	2.3	9.8	42.5	36.4	5.2	1.7
		無回答 3.2					無回答 4.3				
48	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり（アイランドシティ，九州大学学術研究都市，シーサイド百道）	4.1	20.1	57.9	11.1	4.0	8.5	36.6	40.3	7.4	3.2
		無回答 2.9					無回答 4.0				
49	国際的なビジネス交流の促進	3.4	15.1	68.2	7.8	2.1	8.5	39.9	41.7	4.1	1.2
		無回答 3.4					無回答 4.6				
50	物流・人流のゲートウェイづくり（博多港，福岡空港の機能強化）	5.1	23.7	54.5	10.6	3.3	13.4	45.1	32.4	3.7	1.6
		無回答 2.7					無回答 3.7				
51	グローバル人材の育成と活躍の場づくり	3.3	15.3	63.7	11.9	2.7	12.3	45.7	33.9	3.0	1.3
		無回答 3.1					無回答 3.8				
52	アジア諸都市などへの国際貢献・国際協力	3.7	19.4	62.5	9.0	2.1	9.0	42.6	36.8	4.6	2.6
		無回答 3.4					無回答 4.4				
53	釜山広域市（韓国）との連携強化，広域経済圏の形成	2.9	12.7	69.1	7.6	4.3	5.1	25.9	43.1	12.6	9.2
		無回答 3.4					無回答 4.2				

54	外国人にも暮らしやすいまちづくり	3.4	15.5	67.1	7.8	3.1	7.3	38.3	39.2	6.9	4.1
		無回答 3.2					無回答 4.2				

問3. 今後福岡市が取り組んでもらいたいと思うこと、このアンケートに関すること、その他市政に対するご意見、ご提案がございましたら、記入してください。

《最後に、あなたやあなたのご家族のことについておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください》

F 1. あなたの性別は

1. 男 性	41.9	2. 女 性	56.9
--------	------	--------	------

無回答 1.1

F 2. あなたの年齢は 平均 54.6 歳

F 3. あなたの家族数（同居人数）は、あなたを含めて何人ですか。

1. 1 人	14.3	4. 4 人	18.3	7. 7 人以上	0.6
2. 2 人	35.0	5. 5 人	6.4		
3. 3 人	22.4	6. 6 人	1.9		

無回答 1.2

F 4. 家族構成（同居している方のみ）は

1. 単身	14.3	3. 親と子の二世帯	47.2	5. 兄弟姉妹のみ	0.9
2. 夫婦のみ	26.5	4. 親と子と孫の三世帯	6.6	6. その他	0.7

無回答 3.7

F 5. あなたの家族（同居している方のみ）に次の方はいらっしゃいますか。あなたを含めてあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 未就学児	9.9	4. 専門学校生	1.1	7. 65 歳以上の人	40.3
2. 小・中学生	13.9	5. 短大・高専生	0.7	8. 障がい者手帳をお持ちの方	9.8
3. 高校生	7.0	6. 大学・大学院生	6.2	9. 1～8までに該当する人はいない	24.3

無回答 8.1

F 6. あなたは普段、近所づきあいをどの程度されていますか。あてはまるものを1 つ選び、番号に○をつけてください。

1. 毎日でもお互いに家を行き来する	1.6
2. ときどき家を訪問したり、されたりする	11.7
3. 会えば世間話をする	28.9
4. 会えばあいさつ程度はする	47.7
5. つきあいはほとんどない	9.0

無回答 1.1

F 7. あなたの職業は

1. 経営者・役員	3.0	6. 自営業の家族従業員	2.0
2. 常時雇用されている一般従業員	24.9	7. 内職	0.1
3. 臨時雇い・パート・アルバイト	13.5	8. 学生	1.9
4. 派遣社員	1.7	9. 無職	37.0
5. 自営業主・自由業主	5.6	10. その他	0.4

無回答 9.8

S Q. (F 7で1～7のいずれかに回答した方に)

その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。

n=967

1. 専門・技術系の職業（医師，弁護士，教員，エンジニア，看護師，作家など）	23.1
2. 管理的職業（課長相当以上の管理職）	8.8
3. 事務・営業系の職業（事務員，営業職員，銀行員，警察官，消防署員など）	24.5
4. 販売・サービス系の職業（店主，店員，外交員，接客，給仕，観光ガイドなど）	21.1
5. 技能・労務・作業系の職業（美容師，クリーニング，職人，工場労働者，建設作業員，運転手など）	16.4
6. 農林漁業職	0.6
7. その他	0.5

無回答 5.0

F 8. あなたがお住まいの区はどちらですか。

1. 東区	17.6	3. 中央区	10.4	5. 城南区	8.2	7. 西区	13.5
2. 博多区	12.2	4. 南区	14.8	6. 早良区	16.1		

無回答 7.2

F 9. あなたが福岡市に住んでいる年数は通算で何年になりますか。

1. 5年未満	8.3	3. 10～20年未満	13.6	5. 30年以上	48.2
2. 5～10年未満	6.9	4. 20～30年未満	15.8		

無回答 7.2

F 10. 福岡市に転入する前の住所は

1. ずっと福岡市	25.3	4. 中国・四国	4.3	7. 外国	0.6
2. 福岡市を除く福岡県内	24.0	5. 近畿・東海・北陸	5.9		
3. 福岡県を除く九州内	22.1	6. 関東・東北・北海道	10.4		

無回答 7.3

F 11. あなたのお住まいは

1. 持ち家（一戸建て）	35.4	4. 賃貸住宅（アパート，マンション）	29.8
2. 持ち家（集合住宅（マンション））	21.9	5. 官公舎・社宅・寮	1.9
3. 賃貸住宅（一戸建て）	2.9	6. その他	0.4

無回答 7.7

